



①状況付与票を手に話し合う参加者たち ②カラーコーンを置いて通行止めにする様子 ③安永1・2町内公民館に設置された本部 ④排水ポンプの操作研修 ⑤排水路の水を直接秋津川に排水するためのホース延長

梅雨に備えて内水氾濫対策

安永1・2町内合同避難訓練

安永1町内(守住保二区長)と安永2町内(江森勝喜区長)合同による避難訓練が、6月2日、安永中井手地区で実施されました。内水氾濫対策の住民参加型訓練は、当町では初の試みです。

「早朝から雨が降り続き、『間もなく1時間あたり60mm以上の豪雨になる』との予報により、安永中井手地区において内水氾濫の恐れがある」という想定の下、「状況付与型」といわれる方法で訓練が行われました。「排水溝から水が逆流して、道路上の水かさがすでに20%以上になっている」「水かさが40%以上となり、道路の通行は不可能となった」などの状況が書かれた紙が、参加者たちに次々と与えられ、その状況に対応するためにそれぞれが考え、水位などの伝達、人および車の避難誘導、内水氾濫想定区間の交通規制、町および関係機関との連携などを行いました。

排水ポンプを実際に動かしての排水に加え、排水ポンプが故障した場合も想定して、応援を要請する手順も確認しました。

約2時間の訓練を終えた後、訓練統制部による訓練の目的の説明、主な役職者および町下水道課からの改善・検討事項の説明が行われ、参加者たちはそれぞれに良かった点、反省点などを確認していました。

美しい音色で「こころの復興」

日本フィルハーモニー交響楽団によるミニコンサート

5月29日、つどいの広場とんとんで「日本フィルハーモニー交響楽団(日フィル)メンバーによる弦楽四重奏ミニコンサート」が開催されました。

これは、日フィルが、被災地に音楽を届けるために、熊本県立劇場が行う「こころの復興推進事業アートキャラバンくまもと」と、共同で行ったものです。

子育て中の母親など約70人が、弦楽四重奏が織り成す美しい音色に聞き入り、「森のくまさん」などの童謡が演奏されると、みんなで口ずさんでいました。



日フィルメンバーによる弦楽四重奏の音色に聞き入る親子ら

Best Smile
今月のベスト笑顔

